

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 22 年 7 月 15 日 (2010.7.15)

【公開番号】特開 2008-298591 (P2008-298591A)
 【公開日】平成 20 年 12 月 11 日 (2008.12.11)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-049
 【出願番号】特願 2007-145140 (P2007-145140)
 【国際特許分類】

G 0 1 D 5/245 (2006.01)

【 F I 】

G 0 1 D 5/245 X

【手続補正書】

【提出日】平成 22 年 5 月 27 日 (2010.5.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モータの回転軸に取り付けられ、回転状態を検出するためのパターンを備えた被検出体と、

前記被検出体の回転状態を検出する回転検出手段と、

前記回転検出手段および前記回転検出手段と信号の授受を行う電子部品が実装される基板と、

前記被検出体および前記基板を覆う第 1 および第 2 のカバー部材とを有し、

前記基板を前記モータに取り付けた後、前記基板の一端の縁部分を前記第 1 のカバー部材の内面部分に接することにより、前記第 1 のカバー部材を前記基板に対して位置決めし、前記縁部分の反対側となる部分を前記第 1 のカバー部材と前記第 2 のカバー部材とで挟んだ状態で、ねじにより前記第 1 のカバー部材と前記第 2 のカバー部材とを固定することを特徴とするエンコーダ。

【請求項 2】

前記基板の前記縁部分の反対側となる部分に、エンコーダ出力用のケーブルを配置したことを特徴とする請求項 1 に記載のエンコーダ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記目的を達成するために、本発明のエンコーダは、モータの回転軸に取り付けられ、回転状態を検出するためのパターンを備えた被検出体と、前記被検出体の回転状態を検出する回転検出手段と、前記回転検出手段および前記回転検出手段と信号の授受を行う電子部品が実装される基板と、前記被検出体および前記基板を覆う第 1 および第 2 のカバー部材とを有し、前記基板を前記モータに取り付けた後、前記基板の一端の縁部分を前記第 1 のカバー部材の内面部分に接することにより、前記第 1 のカバー部材を前記基板に対して位置決めし、前記縁部分の反対側となる部分を前記第 1 のカバー部材と前記第 2 のカバー部材とで挟んだ状態で、ねじにより前記第 1 のカバー部材と前記第 2 のカバー部材とを固

定することを特徴とする。